

「企業経営者意識調査(平成 29 年 10-12 月)」の概要

平成 30 年 2 月 16 日
経済部経済企画局経済企画課

1 企業業況感等調査(調査数 1,000 社、回答数 599 社)

- 今期の業況感 BSI は、水準としては引き続きマイナスになり、前期から下降。
(前期: $\Delta 4$ 今期: $\Delta 8$ 来期見通し: $\Delta 14$)
- 業種別では、運輸業で上昇、建設業、製造業、卸売・小売業、サービス業で下降。
- 地域別では、道北で上昇、道南、道央、オホーツク、十勝、釧路・根室で下降。
- 来期見通しは、今期から 6 ポイント下降。業種別では運輸業で上昇、建設業、製造業、卸売・小売業、サービス業で下降の見込み。
地域別では道北で上昇、道南、道央、オホーツク、十勝、釧路・根室で下降の見込み。
- 雇用者の不足感は、卸売・小売業で下降、運輸業で横ばい、建設業、製造業、サービス業で上昇。
地域別では、道北で下降、道央で横ばい、道南、オホーツク、十勝、釧路・根室で上昇。

※BSI指標は、「上昇」「横ばい」「下降」の選択肢により調査し、「上昇企業の割合(%) - 下降企業の割合(%)」で算出。

(1) 業況感

ア 業種別業況感

【建設業】 14 ポイント下降  (前期 + 18 → 今期 + 4)

- ・土木工事業や建築工事業でマイナスに転換
- ・配管などの設備工事を行う管工事業や舗装工事業でプラス幅が縮小

【製造業】 1 ポイント下降  (前期 $\Delta 5$ → 今期 $\Delta 6$)

- ・半導体や液晶などの電子デバイス製造業や自動車・同附属品製造業でプラス幅が拡大
- ・食品機械製造などの生産用機械器具製造業や窯業・土石製品製造業でプラス幅が縮小

【卸売・小売業】 8 ポイント下降  (前期 $\Delta 4$ → 今期 $\Delta 12$)

- ・食肉卸売業や織物・衣服・身の回り品小売業でマイナス幅が拡大
- ・金属加工機械などの産業機械器具卸売業や鉄鋼製品卸売業でプラス幅が縮小

【運輸業】 4 ポイント上昇  (前期 $\Delta 17$ → 今期 $\Delta 13$)

- ・一般貨物自動車運送業でプラス幅が拡大
- ・沿海海運業や冷蔵倉庫業でマイナス幅が拡大

【サービス業】 5 ポイント下降  (前期 $\Delta 9$ → 今期 $\Delta 14$)

- ・食堂・レストランなどの飲食店や情報処理・提供サービス業でマイナス幅が拡大
- ・旅館・ホテル業でマイナスに転換

イ 地域別業況感

【道南】 6 ポイント下降  (前期 $\Delta 18$ → 今期 $\Delta 24$)

- ・菓子・パンなどの飲食料点小売業や船舶製造・修理業、船用機関製造業でマイナスに転換
- ・冷蔵倉庫業や旅館・ホテル業でマイナス幅が拡大

【道央】 1ポイント下降 (前期 △ 5 → 今期 △ 6)

- ・一般貨物自動車運送業や産業廃棄物処理業でプラスに転換
- ・貸切バスなどの一般貸切旅客自動車運送業や自動車整備業でマイナス幅が拡大

《札幌市を除く》 7ポイント下降 (前期 △ 4 → 今期 △ 11)

- ・化学肥料製造業などの化学工業や旅館・ホテル業でマイナスに転換
- ・建設用・建築用金属製品製造業や自動車整備業でマイナス幅が拡大

《札幌市》 5ポイント上昇 (前期 △ 7 → 今期 △ 2)

- ・産業廃棄物処理業でプラスに転換
- ・一般土木建築工事業や産業用機械器具賃貸業でプラス幅が拡大

【道北】 6ポイント上昇 (前期 △ 20 → 今期 △ 14)

- ・水産食料品などの食料品製造業や一般貨物自動車運送業でマイナス幅が縮小
- ・旅館、ホテル業でプラス幅が拡大

【オホーツク】 23ポイント下降 (前期 + 11 → 今期 △ 12)

- ・一般土木建築工事業でプラス幅が縮小
- ・旅館、ホテル業や一般乗用旅客自動車運送業、水産食料品製造業、自動車小売業でマイナス幅が拡大

【十勝】 8ポイント下降 (前期 + 27 → 今期 + 19)

- ・百貨店・スーパーなどの各種商品小売業や食料品製造業でマイナスに転換
- ・土木工事業や旅館、ホテル業でプラス幅が縮小

【釧路・根室】 10ポイント下降 (前期 △ 9 → 今期 △ 19)

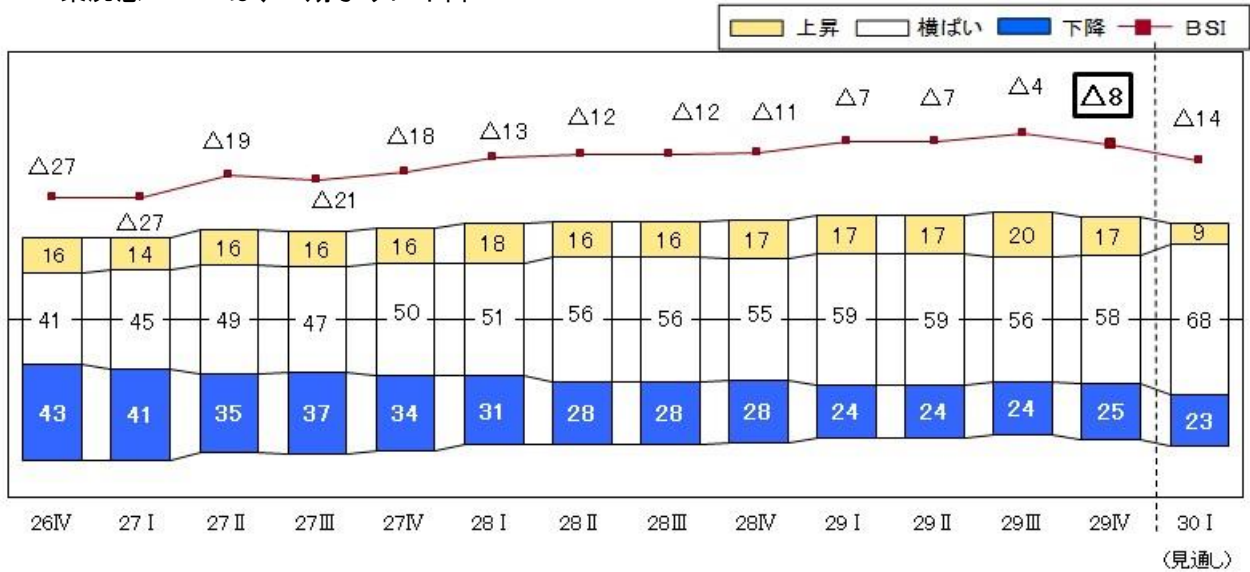
- ・旅館・ホテル業でマイナスに転換
- ・タクシーなどの一般乗用旅客自動車運送業や食堂・レストランなどの飲食店でマイナス幅が拡大

業況感(業種・資本金・地域別)

区分	H29年 7-9月 実績BSI	H29年10-12月実績					H30年1-3月見通し					
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	
総計	△ 4	17	58	25	△ 8	△ 4	9	68	23	△ 14	△ 6	
札幌市を除く	△ 3	16	57	27	△ 11	△ 8	7	70	23	△ 16	△ 5	
札幌市	△ 7	19	60	21	△ 2	5	15	66	19	△ 4	△ 2	
業種	建設業	18	20	64	16	4	△ 14	10	73	17	△ 7	△ 11
	製造業	△ 5	17	60	23	△ 6	△ 1	11	66	23	△ 12	△ 6
	卸売・小売業	△ 4	15	58	27	△ 12	△ 8	7	67	26	△ 19	△ 7
	運輸業	△ 17	19	49	32	△ 13	4	13	67	20	△ 7	6
	サービス業	△ 9	14	58	28	△ 14	△ 5	7	68	25	△ 18	△ 4
資本金	5千万円未満	△ 7	15	59	26	△ 11	△ 4	8	66	26	△ 18	△ 7
	5千万以上～1億円未満	△ 2	18	54	28	△ 10	△ 8	13	68	19	△ 6	4
	1億円以上	6	20	61	19	1	△ 5	10	75	15	△ 5	△ 6
地域	道南	△ 18	12	52	36	△ 24	△ 6	4	67	29	△ 25	△ 1
	道央	△ 5	18	58	24	△ 6	△ 1	13	66	21	△ 8	△ 2
	札幌市を除く	△ 4	16	57	27	△ 11	△ 7	11	66	23	△ 12	△ 1
	札幌市	△ 7	19	60	21	△ 2	5	15	66	19	△ 4	△ 2
	道北	△ 20	10	66	24	△ 14	6	9	69	22	△ 13	1
	オホーツク	11	12	64	24	△ 12	△ 23	0	74	26	△ 26	△ 14
	十勝	27	35	49	16	19	△ 8	15	73	12	3	△ 16
釧路・根室	△ 9	13	55	32	△ 19	△ 10	2	70	28	△ 26	△ 7	

ウ 業況感BSIの推移

・業況感BSIは、9期ぶりに下降



(注「Ⅰ～Ⅳ」は暦年の四半期を表す。(Ⅰ=1～3月 Ⅱ=4～6月 Ⅲ=7～9月 Ⅳ=10～12月))

(2) 雇用者の不足感(「不足」－「過剰」)

今期の雇用者の不足感BSIは48(前期から2ポイント上昇)

- ・業種別にみると、卸売・小売業でプラス幅縮小、運輸業で横ばい、建設業、製造業、サービス業でプラス幅拡大
- ・地域別にみると、道北でプラス幅縮小、道央で横ばい、その他の地域でプラス幅拡大

区分	H29年 7-9月 実績BSI	H29年10-12月実績					H30年1-3月見通し					
		不足	適正	過剰	BSI	変化幅	不足	適正	過剰	BSI	変化幅	
総計	46	51	46	3	48	2	48	49	3	45	△3	
札幌市を除く	45	51	46	3	48	3	47	51	2	45	△3	
札幌市	49	53	44	3	50	1	50	46	4	46	△4	
業種	建設業	62	67	31	2	65	3	62	36	2	60	△5
	製造業	40	48	47	5	43	3	43	53	4	39	△4
	卸売・小売業	30	36	57	7	29	△1	32	61	7	25	△4
	運輸業	57	58	41	1	57	0	58	41	1	57	0
	サービス業	46	50	50	0	50	4	46	53	1	45	△5
資本金	5千万円未満	43	49	48	3	46	3	45	52	3	42	△4
	5千万以上～1億円未満	48	59	36	5	54	6	54	42	4	50	△4
	1億円以上	57	52	48	0	52	△5	52	48	0	52	0
地域	道南	37	41	56	3	38	1	37	60	3	34	△4
	道央	46	49	48	3	46	0	47	50	3	44	△2
	札幌市を除く	44	46	51	3	43	△1	44	53	3	41	△2
	札幌市	49	53	44	3	50	1	50	46	4	46	△4
	道北	55	55	43	2	53	△2	52	47	1	51	△2
	オホーツク	47	61	37	2	59	12	54	43	3	51	△8
	十勝	51	60	37	3	57	6	51	47	2	49	△8
	釧路・根室	36	45	52	3	42	6	45	52	3	42	0

(3) 設備投資の状況（今期の実績）

- ・「設備投資をした」と回答した企業は34%で、前期と比べて1ポイント上昇
- ・設備投資の目的については、「設備更新」が72%、「生産・販売能力拡大」が25%「合理化・省力化」が22%（複数回答）

設備投資の状況（H29年10-12月実績）（業種・資本金・地域別）

(%)

区 分	H29年7-9月 設備投資した	H29年10-12月 設備投資した	設備投資の目的（複数回答）						
			設備更新	生産・販売能力拡大	合理化省力化	環境保全	経営多角化	研究開発	その他
総 計	33	34	72	25	22	6	4	3	2
札幌市を除く	33	31	72	22	22	7	4	5	2
札幌市	36	46	70	32	23	4	4	0	4
業 種									
建設業	24	29	67	13	20	10	3	0	0
製造業	41	46	67	37	37	8	2	8	0
卸売・小売業	29	28	68	31	16	6	0	0	6
運輸業	47	43	91	7	14	5	5	0	2
サービス業	31	28	65	31	20	2	8	6	4
資本金									
5千万円未満	27	27	69	25	19	7	7	3	2
5千万以上～1億円未満	32	37	76	27	24	5	2	2	2
1億円以上	62	59	72	22	27	4	0	5	4
地 域									
道南	25	28	65	0	5	5	10	5	5
道央	36	38	72	32	26	4	3	1	2
札幌市を除く	37	29	73	32	32	6	3	3	0
札幌市	36	46	70	32	23	4	4	0	4
道北	32	27	76	20	36	0	0	12	0
オホーツク	34	32	74	24	10	10	0	0	10
十勝	39	45	62	28	24	7	3	7	0
釧路・根室	26	27	82	18	12	18	12	0	0

2 特別調査

(1) 電気料金について

ア 現在の電気料金の負担感について（回答 582 社）

- ・負担に感じていると回答した企業（「ア」「イ」）は全体で60.0%、業種別では、製造業の79.1%、次いで、サービス業の60.6%の順となった。
- ・負担に感じていないと回答した企業（「ウ」「エ」）は全体で40.0%、業種別では、運輸業の51.1%、建設業の46.6%の順となった。

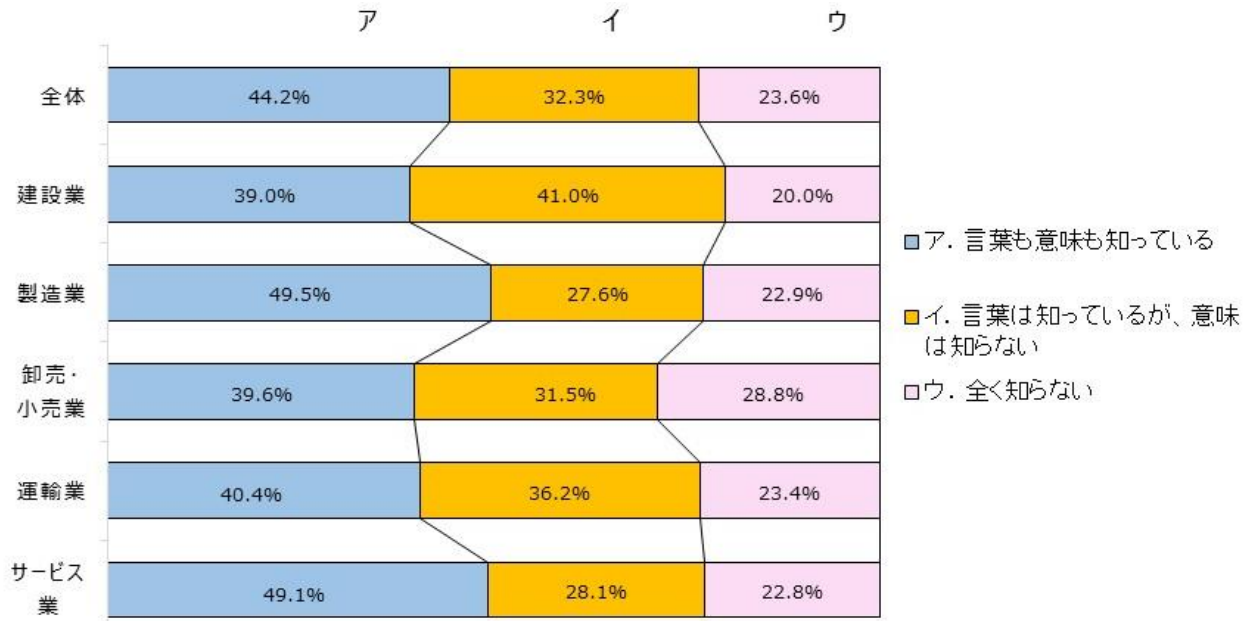


(2) 健康経営（※1）について

（※1 従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践すること。企業理念に基づき、従業員への健康投資を行うことは、従業員活力や生産性の向上等の組織の活性化をもたらし、結果的に業績向上や株価向上につながると期待されます。（経済産業省「健康経営銘柄」より））

ア 健康経営について（回答 577 社）

- ・言葉も意味も知っている回答した企業（「ア」）は全体で44.2%、業種別では、製造業の49.5%、次いでサービス業の49.1%の順となった。
- ・全く知らない回答した企業（「ウ」）は全体で23.6%、業種別では、卸売・小売業の28.8%、次いで運輸業の23.4%の順となった。



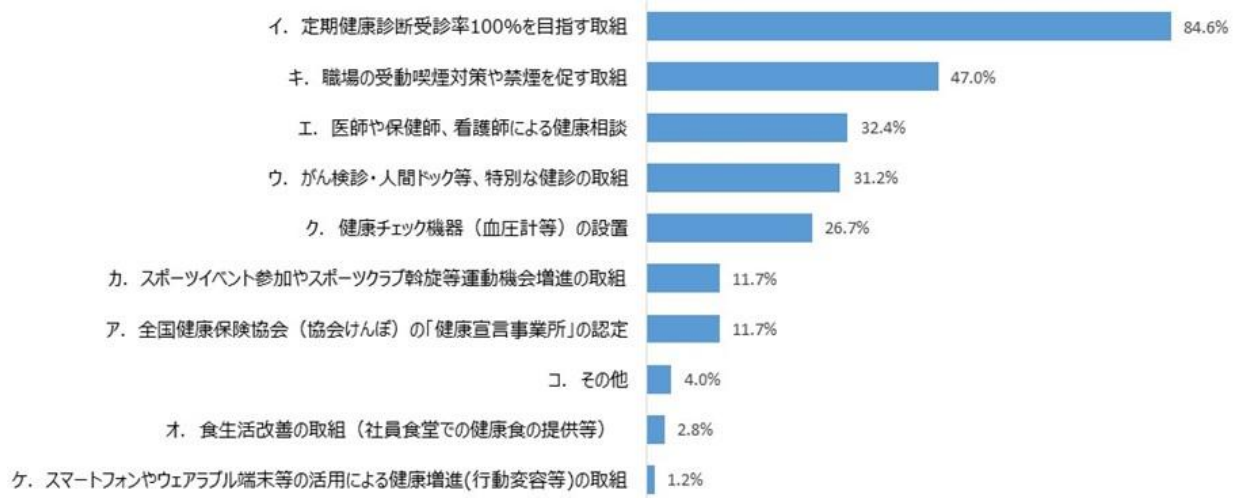
イ 現在の取組状況と今後の意向について（回答 577 社）

- ・現在、取り組んでいると回答した企業（「ア～ウ」）は全体で44.0%、業種別では、サービス業で48.2%、次いで製造業で47.1%の順となった。
- ・最も回答の多かったものは「オ. 取り組んでいないが、検討したい」で36.9%、次いで「イ. 取り組んでおり、現状維持したい」36.0%、「カ. 取り組む予定はない」12.8%の順となった。



ウ 現在の取組内容について (回答 247 社) ※複数回答

- ・全体で最も回答が多かったものは「イ. 定期健康診断受診率100%を目指す取組」で84.6%、次いで「キ. 職場の受動喫煙対策や禁煙を促す取組」47.0%、「エ. 医師や保健師、看護師による健康相談」で32.4%の順となった。



エ 取り組む目的や効果について (回答 456 社) ※複数回答

- ・最も回答の多かったものは「エ. 人材確保（離職者減少、採用活動対策）」で56.6%、次いで「カ. 仕事へのモチベーション向上（福利厚生充実）」50.9%、「キ. 事故リスクや訴訟リスクの低減」40.1%の順となった。

